

10【小歌踊】^{いなかくだ おどり} 田舎下り踊（下野）

「田舎下りの道すがら 田舎下りの道すがら 我とそなたは浮雲よ
風にまかせていくほどに…」と、この男女の道行の叙情的な歌詞を、
少女が無心で踊ります。

また、中世の小歌の魅力にあふれている節回しも聴きどころです。



11【雑子舞】^{しょうじょうまい} 猩々舞（高原田）

長髪で赤ら顔、人間の言葉がわかり、酒が好きだという想像上の
動物である猩々の舞です。壺岐の浦、対馬の浦、隠岐の浦と各地か
ら集まった猩々たちが酒盛りをします。その中で、酒好きの猩々、
笑い上戸の猩々、心の強い猩々、逆に心の弱い猩々、舞の好きな猩々
など5番登場します。同じ酒を飲むにしても、飲み方や様子がそれ
ぞれ性格を反映して異なります。その違いを滑稽に歌い上げ、ダイ
ナミックに舞います。



12【小歌踊】^{こきり こおどり} 小切子踊（高原田）

菅原道真公が九州の大宰府に流された時のこと。都を出発する前
夜、七条坊門の文^{あや}という娘が、心を込めて見送るようにと夢の中
でお告げを受け、三条大橋のたもとで小切子（綾竹のこと）を持って踊っ
た別れの舞が、この踊りの始まりとされています。

他の踊りと扮装が異なり、袴の裾を括り、天冠^{てんかん}をかぶり、小切子
を持って踊ります。



～ ご来場の皆さまへお願い～

- ◎会場で購入した飲食の空き容器などは、購入した店舗へ返却してください。
- ◎持ち込まれたゴミ、空きペットボトルなどは、必ずお持ち帰りください。
※場内にゴミ箱はありません。ご協力をお願いします。
- ◎お手洗いのご案内
 - ・綾子舞会館向かって右手の仮設トイレ
 - ・客席左後方の建物「ほたる」内のトイレ（身障者用トイレもあります）
 - ・綾子舞会館のトイレは使用できません。あらかじめご了承ください。

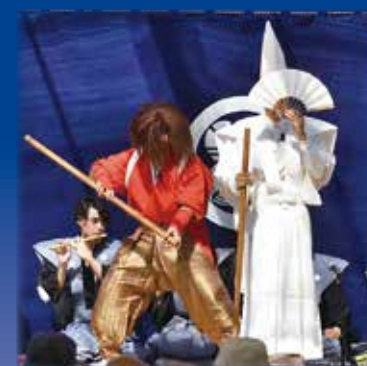
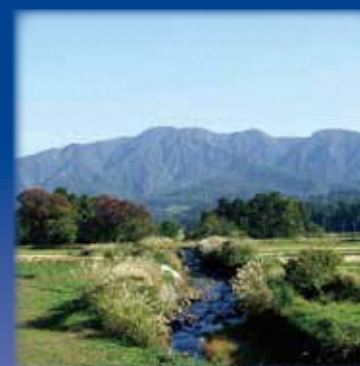
主催：柏崎市綾子舞保存振興会・柏崎市教育委員会

～綾子舞へ応援をお願いします～ 本部テントで受け付けています

「柏崎市綾子舞後援会」会員募集

「柏崎市綾子舞後援会」では、綾子舞の保存伝承活動・伝承学習支援など幅広く綾子舞
の応援団活動を行っております。会員のみなさんには、現地公開のご案内や綾子舞の活動情
報満載の「後援会報」をお届けしています。

年会費は個人2,000円～、法人・団体1口5,000円（2口以上でお願いできましたら大変あ
りがたいです。） 皆さまのご入会をお待ちしています。



ユネスコ無形文化遺産
重要無形民俗文化財

綾子舞 現地公開

令和7年
9月14日^日
12:30～15:45

- 観覧エリア開場 11:30～
- オープニング 12:30～
- 公演 13:00～

観覧エリア開場時間前の場所とり、席の予約不可

舞台清めの舞	三 番 叟（下 野）	
1【小歌踊】	常 陸 踊（下 野）	7【狂 言】
2【狂 言】	海老すくい（下 野）	8【小歌踊】
3【小歌踊】	因 幡 踊（高原田）	9【狂 言】
4【狂 言】	掏 摸（高原田）	10【小歌踊】
5【雑子舞】	亀 の 舞（下 野）	11【雑子舞】
6【小歌踊】	小 原 木 踊（下 野）	12【小歌踊】
		海老すくい（高原田）
		常 陸 踊（高原田）
		閻 魔 王（下 野）
		田舎下り踊（下 野）
		猩 々 舞（高原田）
		小 切 子 踊（高原田）

綾子舞演目解説

【舞台清めの舞】^{さんばそう}三番叟（下野）

綾子舞現地公開は、舞台を清めることから始まります。

舞台清めの舞は、下野では「三番叟」、高原田では「^{はらいまい}被い舞」となっており、今年は下野が務めます。この三番叟は、舞台を清め、豊年満作を祝い、地域の平和を祈る舞でもあります。

1【^{こうたおどり}小歌踊】^{ひたちおどり}常陸踊（下野）

常陸の国（現在の茨城県）にあります鹿島神社の正月行事には、若い男女が好きな人の名を布帯に書いて神前に供え、神職の^{ねぎ}禰宜がこの帯を結んで帯占いをしました。常陸踊はこの行事の後の酒宴での歌舞がもとになって生まれたと言われています。常陸踊は、下野と高原田の両座元に残っていますが、歌詞にも踊りにも違いがあります。

2【^{きょうげん}狂言】^{えび}海老すくい（下野）

殿様が家来である冠者に、明日の来客のご馳走に鎌倉海老（現在の伊勢海老）を買ってくるように命じます。冠者が^{だいもつ}代物（銭）を請求しますが、殿様は「^{なんじはか}代物はない。汝計らえ」（お金はない。自分でなんとかしろ。）と言います。腹を立てた冠者は、殿様をだましてやろうと考えます。さて、どうなりますでしょうか。

途中に狂言小謡・小舞が入り、趣を添えています。海老すくいは、下野と高原田の両座元に残っていますが、台詞や所作に若干の違いがあります。

3【^{いなばおどり}小歌踊】^い因幡踊（高原田）

昔、鳥取県の東部を「因幡の国」と呼んでいました。因幡踊はその国の殿様のことを歌っています。徳川美術館に所蔵されている「歌舞伎図巻」の中に「いなばおどり」の場面があり、歌詞も踊りの振りも綾子舞の「因幡踊」とよく似ています。このことから、綾子舞が初期歌舞伎の伝わったものであろうということがわかります。

4【^{すり}狂言】^{すり}掬摸（高原田）

ある町に市が立ち、商いにやってきた商人が、すりに腰に差した太刀を奪われてしまいます。そこへ役人の木太夫が現れ、「刀の焼きを申せ」「銘を申せ」「寸を申せ」と問いただし、太刀さばきをします。

すりの滑稽な演技が見せどころです。



5【^{はやしまい}雑子舞】^{かめ}亀の舞（下野）

鶴と亀が登場する祝歌です。幼い子どもに小石を投げられることを何より恐れている亀が、蓬莱（古代中国の仙人が住むという島）へ行くこうとします。その時に、松に巣を作る鶴を友達に欲しいと願い、歌一首を詠むという舞です。

6【^{おはらぎおどり}小歌踊】^お小原木踊（下野）

昔、京都の大原に住む女性を「大原女」と呼んでいました。小原木踊は、大原女が都に住む恋しい人に会うために薪や薫物を売って歩く情景を表現している踊りです。踊り子が登場する「さし」と呼ばれる部分は他の踊りと違い、伴奏のない独吟で始まります。

19種類にもものぼる扇の手振りが美しい恋の踊りです。

7【^き狂言】^う海老すくい（高原田）

殿様が家来である冠者に、明日の来客のご馳走に鎌倉海老（現在の伊勢海老）を買ってくるように命じます。冠者が代物（銭）を請求しますが、殿様は「代物はない。汝計らえ」（お金はない。自分でなんとかしろ。）と言います。腹を立てた冠者は、殿様をだましてやろうと考えます。さて、どうなりますでしょうか。

途中に狂言小謡・小舞が入り、趣を添えています。海老すくいは、高原田と下野の両座元に残っていますが、台詞や所作に若干の違いがあります。

8【^い小歌踊】^い常陸踊（高原田）

常陸の国（現在の茨城県）にあります鹿島神社の正月行事には、若い男女が好きな人の名を布帯に書いて神前に供え、神職の^{ねぎ}禰宜がこの帯を結んで帯占いをしました。常陸踊はこの行事の後の酒宴での歌舞がもとになって生まれたと言われています。常陸踊は、高原田と下野の両座元に残っていますが、歌詞にも踊りにも違いがあります。

9【^{えんまおう}狂言】^{えんま}閻魔王（下野）

朝比奈三郎は、鎌倉殿の御家人として有名な和田義盛と巴御前の三男で、その勇壮ぶりは天下無双といわれる強者です。

第一段では、朝比奈と閻魔王との地獄極楽の問答。第二段では、和田合戦を物語り、鮎問答。そして朝比奈が極楽へ急ぐところで幕切れとなります。朝比奈を地獄へ落そうと閻魔王は責めますが、朝比奈はびくともしません。その朝比奈とは対照的に愛嬌のある閻魔王がみられるところに面白さがあります。

